



土木遺産認定 三成ダムの認識は

内田精彦 議員

町長 大変名誉なことで大きな誇りとする



問 今回の三成ダム土木遺産認定は、日本初のアーチ式ダムで、建設当時のキャッチフレーズは、白い石炭、島根の宝であった。今回、三成ダムを含め21の土木遺産が認定され、島根県では6番目の認定である。アーチ式ダムは国内では2千800基のダムの内52基しかなく、また、三成ダムのようなものは、他の施設にはない大変貴重なダムである。奥出雲町として、今後どう活用するのか。

答 改めて地域資源としての価値を認識した。今後は、ダム周辺の整備や、案内看板等の整備を県へ要望し、町内にある地域資源との相乗効果により、交流人口の拡大につなげ



土木遺産認定された三成ダム

て情報発信に努め、観光振興に力を注ぐ。

問 日本三大美肌の湯サミットに奥出雲を10月11日に開催しサミット宣言をしたが、前回サミットから今回サミットまで三大美肌の湯では、何をしたのか。

答 関係3市町が日本三大美肌の湯を共同で情報発信し誘客のため、日本三大美肌の湯パンフレットを作り、活用している。情報交換を随時行い、各イベント開催時に日本三大美肌の湯をPRし誘客に努めている。

問 サミットの効果は、

答 今回初めてサミット宣言を行った。①3つの温泉の共通ロゴマークを

作成し、PR活動する。②地域の特性を生かした温泉地の魅力を発信する。③日本三大美肌の湯に貼らないよう、施設の維持管理に努める、と宣言。これにより、3つの温泉が連携し共同で取り組むことが確認できた。これにより一層の連携を深め、さらなる誘客促進を図ることができると期待している。

問 町内の小学生、中学生の学習塾、そろばん教室等へ通っている子供の状況を把握しているのか。

答 安部教育長
調査していない。全国学力調査に合わせて行われる学習状況調査によると、H25年度、小学6年生23%、中学3年生で24.1%、H26年度小学6年生で35.6%、中学3年生で78%、H27年度小学6年生、17.2%、中学3年生で17.2%が学習塾で勉強している。

問 全国学力テストでは、奥出雲町は、どの教科とも、県平均を下回り危機



横高生の通学風景

的な状況である。町内の子供の学習塾等への費用の一部を助成する考えは、

答 安部教育長
家庭の近くに学習塾等がなく、保護者による送迎ができないため通えない等、さまざまな理由で通いたくても通えないケースもあり、公平性の観点から難しいと考えている。

問 横田高等学校生徒確保対策の一環として通学費の助成、特に仁多地域からの通学者に助成できないか。

答 通学費の補助は、魅力化事業の中で予算化しており、通学費の三分の一補助している。全額支援は考えていない。